

「立志式」～凜とした8年生に期待します～

こうちゅう いしおかひでひさ
校長 石岡秀久

2月3日(水)に8年生を祝う立志式を本校集会室で行いました。ご存じのように新型コロナ感染症の影響で、式は簡素化され、在校生・保護者のみの参加となり、例年に比べ寂しい中での実施でした。

ところが、とても立派な式に感じたのです。参加者も少なく、装飾も簡素化された式ではあったのですが、決意表明をする8(中学2)年生が緊張の中にも凜としたたずまいで、決意や感謝、硫黄島に対する思いを堂々と披露してくれたのです。登壇する姿勢や決意表明に本校職員の指導の様が感じられました。大人としての立ち居、振る舞いを立派に体現してくれた8年生の将来に対する可能性を大いに感じました。

私見になりますが、子供がいてこそ親になると思っています。子供が親にさせてくれていると思っています。我が子の誕生を喜び、感謝するも、いつの間にか同年齢の子供と比較したり、兄弟間で比べたりしてしまいがちです。(自分自身の反省です。)親の思いは「他人様に迷惑かけることなく、飯食っていける大人になってほしい。」に尽きるのではないか。立志式という節目の行事を通して、改めて振り返る機会になりました。

最後になりますが、今年度は式の進行も生徒が務めました。とても上手に進行できましたし、前期課程(小学校)児童の聞く態度も素晴らしいこともお伝えいたします。



さとし 智さんは「感謝」、心美さんは「島を誇りに」、來夢さんは「七転八起」、千波さんは「硫黄島に来て」、朋さんは「立志を迎えて」というテーマで、堂々と立志の誓いを述べました。(七彩葉さんと龍空さんが進行でした。)

<クセモンつきにみえました>



コロナウィルスの影響を吹き飛ばしてくれることを期待します。

下記のURLまたはQRコードから「みしまっ子日記」をチェックしてください！！<http://www.mishimamura-sch.jp/mishimakko/>



きんちょう いっしゅん <緊張の一瞬>～百人一首大会～

しず 静まり返った9年生 教室に上の句がひ
かえ びき、パシッという音とともに下の句を取
ねんせいきょうしつ おと しも く
る。1対1での勝負に全員が、普段とは違
ふんいき ちが ひるやす
う雰囲気を味わっていました。昼休みや
ほうかご りょう 放課後を利用して、少しずつ練習してき
まい まい かち ちが お
たので、1枚1枚の価値が違うのです。終
あと きんちょう い こ ま
わった後「緊張したあ」と言う子や負けた
くや なみだ なが こ はじ
悔しさで涙を流す子もいました。始まり
おとわりはきちんと「礼」を交わすことで、
とりくみ たが みと あ
これまでの取組を互いに認め合うさわや
たいかい かな大会となりました。しおかぜハウスでは、
とうじつ よる ひやくにんいっしゅ れんしゅう
当日の夜、百人一首を練習するなど、
らいねん も あ まちが
来年も盛り上がること間違いないです。



おにそと せつぶん <鬼は外>～みしまっ子の節分～

じぶん なか おに はら
自分の中の鬼を払うために、みしまっ子たち
まめ は豆をきました。集合写真を見ると、新
きも まいにち す
しい気持ちで毎日を過ごしていく表情にな
ひょうじょう
っていますね。頼もしい島の子になってくれる
たの しま こ
ことでしょ。



こうつうあんぜん <交通安全>～さっちゃんこんにちは～

ちゅううざいしょ はたなか はか こうつう
駐在所の畠中さんの計らいで、交通
きょうかい 協会から、飛び出し注意看板「さっちゃん」を設置してもらいました。

子どもたちは、さっちゃんにあいさつ
と だ と だ
することで、飛び出
すことが減っている
ようです。



<すばらしい感性>「せかいのへいわ」

ふくざこじゅり あ せいしょうねんせきじゅうじ
福迫樹利亜さんの青少年赤十字100
もじさくぶん し ぶ ちょうしよう
文字作文が支部長賞をいただきました。

さくひん こうない けいじ
た。作品は校内に掲示してあります。
みしまいおうじまがくえん
三島硫黄島学園としてはじめての「学校
じゅしょう じゅしょう
賞」も受賞することができました。